

# CCJA

*Champion of Change  
Japan Award*

「チャンピオン・オブ・チェンジ」日本大賞  
～女性の力で誰もが安心して暮らせる豊かな社会を～

## 応募ガイドライン

賞の  
内容

大賞 1名

賞金  
**100万円** ティファニー社製  
クリスタルボウル

入賞 5名

ティファニー社製記念品

\*入賞者5名の中から1名に副賞として、  
JWLIより研修参加権利贈与の可能性があります。

応募  
締切

2019年  
**7月31日（水）**

発表

表彰式：2019年12月9日（月）  
株式会社内田洋行 東京ユビキタス協創広場CANVAS

主催：フィッシュ・ファミリー財団

公益財団法人パブリックリソース財団

協賛：Tiffany & Co. / Dow Chemical Japan

協力：株式会社 内田洋行

Japanese Women's Leadership Initiative (JWLI)

# 2019

# 「チャンピオン・オブ・チェンジ」日本大賞 応募ガイドライン

「チャンピオン・オブ・チェンジ」日本大賞は、米国のオバマ前大統領が発案した“Champion of Change”賞を2013年に受賞したボストン在住の日本女性、厚子・東光・フィッシュさんの思いから生まれたもので、米国の地域の社会問題にチャレンジし、社会貢献活動に尽力している市民を表彰する“Champion of Change”賞と同じように、日本で地域社会に根ざし、頑張っている女性の活動に光を当てることを目的に2017年に創設されました。

日本においても、超高齢社会、大災害、子どもの貧困、地域社会の疲弊等、様々な社会問題に直面した時に、勇気をもって自ら行動を起こし、地道に活動を続け、地域社会の課題解決や新たなシステムの構築に取り組んできた女性たちがいます。

この賞は、そんな女性リーダーたちの活動に光を当て、賞を贈ることで日本女性のロールモデルを示すことを願って生まれました。

3回目の開催となる本年も、社会から疎外されがちな人を共に支え合うために勇気をもって自ら行動を起こし、地域の社会変革に取り組んできたNPOや社会的企業等の女性リーダーの想いや努力を、この賞を通じて多くの人たちと広く共有することで、他の女性にも「私もできることをやってみよう」という変化の種が蒔かれ、芽吹くことを願っています。

応募者の方のバックグラウンドや年齢は問いません。「チャンピオン・オブ・チェンジ」日本大賞は、よりよい社会をみんなで作っていくための社会貢献活動の意義と喜びを広めていきます。多くの方々の応募をお待ちしております。

## 応募方法



### 賞の対象者

日本国内で、地域社会における暮らしの質の向上や、誰もが安心して暮らせる社会の実現に向けて、イノベーティブな発想をもとに、活動を今まで続けてこられたNPOや社会的企業等の女性リーダーを対象とします。

※地域で地道な活動を続けている方に光を当て、応援することでもっと広くその活動を知りたいことを目的としています。このため、既に全国的にメジャーな賞を受けた方は、今回の推薦の対象外としてください。

(例) 全国的にメジャーな賞

- ・エイボン女性年度賞、「日経WOMAN」ウーマン・オブ・ザ・イヤー等の、女性を対象とした賞
- ・国の省庁等による表彰事業
- ・全国紙新聞社による福祉や教育分野の表彰事業

※5年以上活動されてきた方を想定していますが、厳密なものではありません。

### 対象者の活動分野

●社会から疎外されがちな人を、孤独や孤立、排除や摩擦から援護し、社会の構成員として包み支え合う活動  
●地域社会のもつ様々な資源を掘り起こして活用し、地域に新たな経済循環や雇用を生み出す活動

(例)

- ・超高齢社会における介護、看護、看取りなどのヒューマンサービス
- ・困難を抱える子どもや若者の成長を支える活動
- ・女性の直面する社会的課題の解決に取り組む活動
- ・障がいや病をもつ人、経済的に困難な環境にある人、外国にルーツをもつ人、子育てや介護などに事情を抱える人の居場所づくり活動
- ・多様性を認め合う社会づくり、弱い立場におかれた人達の人権を守る活動

※文化、国際協力・国際交流、環境保全、再生可能エネルギー推進の分野は、今回の対象から除きます。

### 4つの選考ポイント

外部に選考委員会を設置し、以下のポイントを重視して厳正に選考を行います。

- 1 生活の中から問題を見出す洞察力と事業化する能力
- 2 現状を打破し、改善するイノベーティブな発想力と行動力
- 3 自ら動く実行力、継続する計画性
- 4 变化を創り出し、より良い社会づくりに貢献した実績

### 応募締切日

2019年7月31日（水）※応募用紙 事務局必着。

## 選考の流れ

### Step 1 応募書類 受付

全国から**他薦**により候補者を募集します。下記WEBサイトより応募用紙をダウンロードいただき、Eメール、FAX、郵送にてご応募ください。

※応募後、内容確認のため事務局よりご連絡させていただく場合があります。選考の参考となる資料があれば添付もしくは郵送ください。

### Step 2 書類選考

8月 第一次選考（事務局）  
約25名の候補者を選出  
10月 第二次選考（選考委員）  
外部の選考委員会による選考  
6名の入賞者を決定

※第二次選考の前に候補者ご本人に応募の意思や表彰式への参加が可能かどうかの確認を行います。また、活動や所属団体に関する情報の提供をお願いします。

### Step 3 最終選考会

2019年12月8日(日)  
面接による最終選考  
6名の入賞者に面接にお越しいただき、「チャンピオン・オブ・チェンジ」日本大賞1名を決定。

※最終選考会場までの交通費及び必要な宿泊費は事務局にて負担いたします。

### Step 4 表彰式

日程

**2019年12月9日(月)**

会場 株式会社内田洋行 東京ユビキタス協創広場CANVAS

**大賞**

**1名**

賞金

**100万円**

ティファニー社製  
クリスタルボウル

**入賞**

**5名**

ティファニー社製記念品  
(クリスタル・ミニチュアボウル)

※副賞として、JWLIより  
研修参加権利贈与の可能性  
があります。

6名の入賞者には12月8日(日) 最終選考会での面接、9日(月) 表彰式、10日(火) 本賞の提案者・フィッシュ厚子との朝食会にご参加いただきます。

※入賞者の会場までの交通費及び必要な宿泊費は、事務局にて負担いたします。

ダウンロードはWEBサイトから

<http://jwliccja.org/>



**6月下旬、オープン予定**

応募用紙をダウンロードできない場合には、事務局までご連絡ください。

## 送付先

**公益財団法人 パブリックリソース財団  
「チャンピオン・オブ・チェンジ」日本大賞事務局**

〒104-0043 東京都中央区湊2-16-25-202

TEL：03-5540-6256 FAX：03-5540-1030

Eメール：champion@public.or.jp

※選考プロセスにおいてご提出いただいた書類及び資料は返却いたしませんので、ご了承ください。

※入賞者が決まるまでの各選考過程においては、選考を通過した候補者およびその推薦者にのみ直接ご連絡致しますのでご了承ください。

## 主催

フィッシュ・ファミリー財団 <http://jwli.org/>

FISH FAMILY FOUNDATION

フィッシュ・ファミリー財団は、社会貢献を目的に1999年に米国マサチューセッツ州ボストン市でラリー・フィッシュ、厚子・東光・フィッシュ夫妻によって設立されました。主に、ボストン近郊の低所得層の生活の安定化及び、次世代の人材教育、特に心身ともに助けが必要な若者の支援に力を注ぎ、また同時に、移民の支援活動にも活発に取り組んでいます。2006年からは、JWLI (Japanese Women's Leadership Initiative) を開始しました。JWLIは、2年間の日本女性のリーダーシップ育成・支援を目的とするもので、参加者であるフェローたちは、ボストンに4週間滞在し、ボストンで成功している複数の非営利団体の訪問等を通して、ソーシャルセクターの経営や運営の最新事例を学びます。厚子・東光・フィッシュは、2012年に日米間の相互理解の促進への貢献により外務大臣表彰を、2013年には米国ホワイトハウスより“Champions of Change”賞を、2018年の叙勲において旭日小綬章を受賞しました。



「チャンピオン・オブ・チェンジ」日本大賞の創設者  
フィッシュ厚子より

2013年にオバマ大統領の発案で始まった“Champions of Change”賞をホワイトハウスから受賞したことは、私にとって思いがけない大きな喜びでした。私は、より良い日本の未来のために地道に活動している女性たちと、この賞の意義と喜びを分かち合いたいと思っています。どんな方にお会いできるのか楽しみにしています。

公益財団法人パブリックリソース財団 <http://www.public.or.jp/>



2000年に非営利のシンクタンク、非営利活動法人パブリックリソースセンターとして発足し、NPOなど非営利事業体のマネジメント強化、SRI（社会的責任投資）にかかる企業の社会性評価やCSRの推進支援、そしてオンライン寄付をはじめとする寄付推進事業などを展開してきました。

2013年1月、これらの成果と蓄積を踏まえ、「誰かの力になりたい」という人びとの志を寄付で実現するために、個人や企業の資金力を社会的事業への投資につなぐ寄付推進の専門組織「公益財団法人パブリックリソース財団」として新たにスタートしました。「意志ある寄付で社会を変える」ことをミッションに、テーマ基金、オリジナル基金、遺贈など様々な寄付の方法をご提供し、人生を豊かにする寄付、未来を切り拓く寄付の仕組みづくりに取り組んでいます。また、NPO向けの研修やコンサルティング、社会的事業体の寄付適格性評価、助成事業の成果評価など、寄付による助成が最大の効果を生むための支援を行っています。

その他協力：株式会社 内田洋行

Japanese Women's Leadership Initiative (JWLI)

Champion of Change  
Japan Award

2019